

令和2年4月27日

保護者 各位

高松市立山田中学校  
校長 小西 一郎

「キャリア・パスポート」が始まります。(お知らせ)

惜春の候、保護者の皆様におかれましては、本校の教育にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

また、今般の新型コロナウイルスの感染拡大防止のための臨時休業に際しましても、ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、文部科学省より、「小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐもの。」「教師にとっては、その記述をもとに対話的にかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの。」

として、令和2年4月より、全国の小・中・高等学校で「キャリア・パスポート」を導入することが決定されました。

この「キャリア・パスポート」は、中学校の場合、「卒業時に進学先高等学校等へ生徒が持参する」と定められております。

本校では、この趣旨に鑑み、進学先でのキャリア教育の資料ともなることから、高松市教育委員会の指導の下、キャリア・パスポートを作成し、これまでの通知表の1・2学期の所見に代わるものとして、各学期末の懇談会で保護者の方に確認をしていただき、学校生活を振り返るようにしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

資料 (文部科学省通知より)

学習指導要領及び学習指導要領解説特別活動編から「キャリア・パスポート」の定義を次のように整理する。

「キャリア・パスポート」とは、児童生徒が、小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について、特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として、各教科等と往還し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのことである。

なお、その記述や自己評価の指導にあたっては、教師が対話的に関わり、児童生徒一人一人の目標修正などの改善を支援し、個性を伸ばす指導へとつなげながら、学校、家庭及び地域における学びを自己のキャリア形成に生かそうとする態度を養うよう努めなければならない。